あなたと市政をむすぶ

広報 No.254

かんおんじ

2026／令和8年 12 December



香川県民の日

12月3日

香川県民の日

香川県では、県民一人ひとりが香川の魅力を改めて再認識し、ふるさとへの理解と愛着を深めていただく日として、12月３日を「香川県民の日」として制定しました。

本市でも、この機会にふるさと香川、そしてふるさと観音寺の魅力を体感していただけるよう香川県民の日創設記念イベントを開催します。ぜひ、ふるさとの魅力を再発見してください。

12/1(火)～12/5(土) おもいでのかがわ写真展

市内で明治から平成時代に撮影されたもので、今では見ることができない街の様子や人々の営みなど、昔の観音寺市を写した写真展を開催します。

時 午前９時～午後５時
所 観音寺共同福祉施設１階展示ホール
料 無料
問 企画課　☎２３－３９１７

12/3(木) ちょうさ会館無料開放

当日はどなたでも無料で館内を観覧できます。お祭り気分を味わってみてください。

時 午前９時30分～午後５時
※入館受け付けは午後４時30分まで
所 ちょうさ会館
問 同会館　☎５２－５５００

12/6(日) 観音寺・三豊おさかな市2026 鮮魚の大即売会

鮮魚の販売や香川県のブランド魚を使ったミニ海鮮丼の試食会、抽選会、あさりつかみ取りなど多様な催しを企画しています。

時 午前９時30分～午後２時
所 伊吹漁協煮干集出荷場（瀬戸町二丁目）
問 三豊郡漁業組合連合会　☎２５－３９６３

「香川県民の日」に関する問い合わせ先　企画課　☎２３－３９１７

年末大掃除の前に確認！ ごみの分別にご協力ください

年末は、家庭からたくさんのごみが出る時期です。ごみの減量と資源の有効活用のため、正しい分別にご協力をお願いします。

●衣類
・リサイクルできるものは、透明の袋に入れて**不燃ごみの日**に出すか、中央図書館駐車場の資源回収ボックスに投入する。
・汚れたものや動物に使用していたものなど、リサイクルできないものは、半透明の袋に入れて**可燃ごみの日**に出す。

▲回収ボックス

●ペットボトル
・ふたを取り、洗って不燃ごみの日に出す。
・ふたとラベルは、廃プラスチック類として透明の袋に入れて出す（ラベルはそのままの状態でも構いません）。

●スプレー缶
①中身を使い切る。使い切っていないものは、火気のない屋外の風通しの良い場所で中身を出し切る（塗料スプレー等は、布や紙に吹き付けて出し切る）。
②穴開け専用の器具で穴を開ける。
③不燃ごみ集積所の専用キャリーに出す。

●ライター類
①ガスを使い切る。使い切っていないものは、火気のない屋外の風通しの良い場所でガスを使い切るか、別袋に入れて出す。
②着火操作を行い、火が付かないことを確認し、不燃ごみ集積所の専用キャリーに出す。

活用してください

古紙類回収ボックス（中央図書館駐車場）

リユースサービス「おいくら」

ごみの分別手引き

問い合わせ先　生活環境課　☎２５－２６９８

年末年始の業務のお知らせ

年末年始は窓口が大変混雑します。用事がある人は早めに手続きをお願いします。

		窓口など	休業日	注意
窓口		本庁　☎２３－３９００ 大野原支所　☎５４－５７００ 豊浜支所　☎５２－１２００ 伊吹支所　☎２９－２１１１	12月29日(火)～1月3日(日)	出生・婚姻・死亡などの届け出は、休み期間中でも守衛室で受け付けます。(伊吹支所は除く) ※午後10時15分から午前６時30分までの間は本庁のみの対応となります。
ごみ	収集	観音寺地域 ☎２５－２６９８ 可燃	12月31日(木)～1月3日(日)	ごみは、指定された収集日の指定された場所に、当日の午前８時までに出してください。前日のごみ出しはできませんので、ご協力をお願いします。
		観音寺地域 ☎２５－２６９８ 不燃	12月29日(火)～1月3日(日)	
		伊吹地域 ☎２９－２１１１ ☎２９－２２２４ 可燃	12月29日(火)～1月3日(日)	
		伊吹地域 ☎２９－２１１１ ☎２９－２２２４ 不燃	12月25日(金)～1月6日(水)	
		大野原地域 ☎５４－５７００ 可燃	12月31日(木)～1月3日(日)	
		大野原地域 ☎５４－５７００ 不燃	12月25日(金)～1月4日(月)	
		豊浜地域 ☎５２－１２００ 可燃	12月30日(水)～1月3日(日)	
		豊浜地域 ☎５２－１２００ 不燃	12月24日(木)～1月5日(火)	
	持ち込み	生活環境課　☎２５－２６９８	12月28日(月)～1月6日(水)	１月は７日(木)から受け付けます。土・日曜日、祝日以外の午前10時から午後２時までに搬入してください。
水道		香川県広域水道企業団 西讃ブロック統括センター お客さまセンター ☎２５－５２１１	12月29日(火)～1月3日(日)	・断水や漏水など緊急を要する用件について　☎２５－５２４１（工務課） ・１月の水道メーターの検針業務は、１月４日(月)から開始します。
くみ取り		水再生センター　☎２３－１４３８	12月29日(火)～1月3日(日)	年末のし尿くみ取りは、12月18日(金)までに申し込んでください。
くみ取り		伊吹クリーンセンター　☎２９－２２２４	12月29日(火)～1月3日(日)	年末のし尿くみ取りは、12月15日(火)までに申し込んでください。
火葬場		燧望苑　☎６７－５６５０	1月1日(金・祝)・2日(土)	
交通		のりあいバス　☎２３－３９４９	12月29日(火)～1月3日(日)	伊吹線も運休します。
交通		五郷地区のりあいタクシー ☎２３－３９４９	12月29日(火)～1月3日(日)	・左記の期間は、予約受け付けも休業します。 ・１月４日(月)～８日(金)の予約は、12月22日(火)から受け付けます。 予約先：豊浜運輸興業株式会社（立石タクシー）☎090-3789-3130
公民館		中央公民館　☎２３－３９４４	12月27日(日)～1月4日(月)	観音寺南公民館 ☎24-2996、高室公民館 ☎25-2913、常磐公民館 ☎25-2560、木之郷公民館 ☎27-6330、豊田公民館 ☎27-6350、粟井公民館 ☎27-6209、伊吹公民館 ☎29-2122 も同様です。
公民館		大野原中央公民館　☎５４－５７１１ 豊浜中央公民館　☎５２－１２０３	12月29日(火)～1月3日(日)	観音寺東公民館 ☎25-1779、観音寺西公民館 ☎25-4252、柞田公民館 ☎25-3262、一ノ谷公民館 ☎25-0009 も同様です。
図書館		中央図書館　☎２３－３９６０ 大野原図書館　☎５４－５７１５ 豊浜図書館　☎５２－１２０６	12月29日(火)～1月4日(月)	
市民会館		ハイスタッフホール　☎２３－３９３９	12月28日(月)～1月3日(日)	
すぽっシュＴＯＹＯＨＡＭＡ　☎５６－３３６６			12月29日(火)～1月3日(日)	
子育て支援センターほっとはうす萩　☎２３－６１０１			12月28日(月)～1月4日(月)	
ふるさと学芸館　☎２４－８１２３			12月28日(月)～1月4日(月)	
萩の湯　☎５４－５５５５			1月1日(金・祝)	



その他の施設は、各施設へ早めに問い合わせてください。

対談

道の駅が地域にもたらすもの

開業に向けて準備を進めている新「道の駅」。先進的な道の駅として注目を集める群馬県の道の駅「川場田園プラザ」を運営する永井社長と佐伯市長が対談しました。



永井彰一氏プロフィール
１９６３年群馬県川場村生まれ。法政大学法学部を卒業後、カナダに留学し就職。帰国後、永井酒造株式会社に入社し、１９９９年に代表取締役に就任。２００７年に川場村からの要請により株式会社田園プラザ川場代表取締役に就任し、道の駅「川場田園プラザ」再建に尽力する。

市長　今回、群馬県川場村の道の駅「川場田園プラザ」を運営する永井彰一社長から、道の駅についてお話を伺います。道の駅「川場田園プラザ」（以下、道の駅川場）は、人口約２８８０人の川場村にあり、来園者が年間３００万人を超える道の駅です。国土交通省の「全国モデル道の駅」に選定され、「全国道の駅グランプリ」で1位となるなど数々の実績があり、全国から多くの自治体などが視察に訪れています。５月にハイスタッフホールで開催したシンポジウムでは、永井社長にご講演いただきました。（写真左）







ことし５月24日に開催した新「道の駅」シンポジウムの様子

永井　道の駅川場は、平成10（１９９８）年に開業しましたが、平成18（２００６）年に経営が悪化し、要請を受けて私が平成19（２００７）年から運営会社の代表取締役に就任しました。黒字化に向けて、全スタッフの意識改革や顧客満足を追求した商品・サービスを徹底的に考えた結果、現在は売上が約30億、年間来園者数３２０万人にまで成長しました。約７割がリピーター（常連客）で、さらに約４割が５回以上来園してくださっている、道の駅川場のファンとも言うべきお客様です。



道の駅「川場田園プラザ」のファーマーズマーケット

市長　それはすごいですね。来園した方の満足度の高さが分かります。

永井　道の駅川場の一番の魅力は、地元の農家さんが出品する「ファーマーズマーケット」です。商品の質にこだわり、例えばトウモロコシは定期的に糖度を測定しています。道の駅川場での出品だけで年間1千万円を売り上げる農家の方もいます。近隣に産地直売所はたくさんありますが、地元の人は「自宅用は産直で、贈答用は川場で」と使い分けているそうです。農作物が儲かる仕組みができたことで、農家の後継者が増えていると感じています。ファーマーズマーケットだけで年間5億円弱の売り上げがあります。

市長　新「道の駅」にはファーマーズマーケットを整備し、市内の新鮮な野菜や果物を販売する予定です。地元の農業・産業振興につながることを期待しています。

ーお客さんが喜ぶ魅力ある商品づくりや仕掛けを

市長　道の駅川場では、質が高く高級感のある商品が魅力の一つですよね。商品作りのこだわりなどを教えていただけますか。

永井　道の駅川場では「カワバプレミア」というコンセプトで商品（ラインナップ）を展開しています。川場村産のフルーツを使ったスイーツや生乳を使ったヨーグルト、ブランド米「雪ほたか」の米粉を使ったパンなど、地産地消にとどまらない高い付加価値を持った商品を開発し、村のブランド力向上をめざしていま

群馬県北部に位置する自然豊かな川場村にある、道の駅「川場田園プラザ」。敷地面積は６ヘクタール（東京ドームの1.5倍）



す。道の駅では、お土産や商品、飲食店の料理など食べ物の質が非常に大切です。また、お客さんが飽きないようにする仕掛けも必要です。特に、道の駅川場には何度も来園してくれるリピーターが多いので、いつ来ても「前と少し違っているね」と感じる工夫をしています。四季に応じた季節のメニューを提供したり、定期的に新しいメニューを開発したり。パンは100種類以上、ソフトクリームもバニラやチョコレートなどの定番商品だけでなく季節商品を1~2カ月ごとに変えています。季節商品は問い合わせが来るほどの人気です。季節商品や新商品を作ると、今の時代は皆がSNSなどでPRしてくれます。道の駅川場でしか食べることができないオンリーワン商品を作るよう意識しています。観音寺市の新「道の駅」でも、ぜひ他では真似ができない魅力的な商品作りに力を入れてほしいです。

市長　新「道の駅」開業に向け、現在、市内事業者の皆さんとプロジェクトを立ち上げ、魅力ある商品を開発しています。商品開発には、永井社長にもアドバイスをいただいていますが、本市の魅力ある商品を作るためにどのようなことを意識したら良いと思いますか。

永井　商品開発には、ちょっとした組み合わせが大切です。例えば、観音寺市はかまぼこが有名ですが、揚げたてをハフハフと食べられる場所はなかなかありません。ぜひ、新「道の駅」で売っていただきたいですね。また、片手で持って気軽に食べられることも大事です。お客さんがどういう持ち方で食べるかを想像するだけでも、オシャレでおいしいものはいくつも開発できると思います。また、銭形砂絵は観音寺市のシンボルですが、開運や金運に基づいた面白い商品作りも良いのではないでしょうか。讃岐うどんのだしに欠かせない、伊吹いりこの良さを本気で突き詰めて商品を開発するのも良いでしょう。いりこだしを使った商品を作る、企業とのコラボ商品を作るなど、可能性は無数にあります。やっぱり、「観音寺って何か違うよね」と来た人が思うような商品を開発してほしいですね。具体的には、また商品開発プロジェクトに参加している事業者の皆さんにお伝えします。

市長　市内には、全国に誇れる特産品が数多くありますから、日本、世界に発信できる「観音寺ブランド」の商品作りを行っていきたいと思います。

永井　私の家族はアメリカに住んでいますが、アメリカの飲食店では日本の質の高い食材の需要が高いです。新「道の駅」で開発した商品が将来は世界ブランドとして販売できるものがあるかもしれません。

ーめざすは第3ステージの道の駅

永井　道の駅ができる前、川場村には有名な観光地などは何もありませんでした。今は、約8割の人が道の駅川場を目的に川場村に来てくれます。「道の駅川場の近くにある町です」と紹介してくれる近隣自治体もあります。村の人口は緩やかに減少していますが、世帯人数は維持していますし、消滅可能性自治体には入っていません。私は地方創生の鍵は、その地域における経済波及効果だと考えています。地域経済を回し、川場村と住民へ、いかに還元できるかです。地域にお客さんが来ると、物やサービスが売れる、売れると収入が増える、収入が増えると地域経済が回る。地域経済を回すには、それしかないと考えています。

市長　人口減少・少子高齢化が進み、限られた財源の中で市を維持していくためには、人・物・金を呼び込む仕組みが必要です。当初、道の駅は道路利用者へのサービス提供の場として始まり、その後、道の駅自体が目的地となり、時代と共に役割が変化してきました。そして今、国は「道の駅第3ステージ」として、道の駅を「地域創生・観光を加速する拠点」と位置付けています。観光や防災拠点として、また、他の道の駅や民間企業、各種団体と連携し、元気に稼ぐ地域の拠点として道の駅を進化させようとしています。私がめざす新「道の駅」は、まさに第3ステージの道の駅です。まちに新たな価値を作り、市民の皆さんの誇りとなるような場所にしたいと考えています。

永井　魅力的な商品や施設を作っても最初から順調にいかないことはあります。道の駅川場でも、新規店舗は開業当初は売上目標の7割ほどに留まります。まずは、成功するより失敗をしないことが大切です。道の駅に関わる全ての人を笑顔にすることを考えれば、失敗することはないと思います。朝令暮改の勇気を持ち、お客さんが何を求めているのかを常に考え、改善しながら進めていただきたいです。

市長　このたびは、貴重なお話をありがとうございました。



ネットアスレチック「HANETTA(ハネッタ)」。新「道の駅」にも、大型屋内遊具や屋内キッズスペースなど、子どもたちが伸び伸びと遊ぶことができる施設を予定しています


新「道の駅」に向けて、3カ年計画で市内事業者と地元資源を生かした新たな商品づくりを行っています


川場村の厳選された商品を集めた、道の駅川場田園プラザのギフトショップ「カワバプレミア」

新「道の駅」かんおんじ（仮称）の整備を進めています

国道11号沿いのちょうさ会館付近に広がる大規模空閑地を建設地として、新「道の駅」の整備を進めています。基本設計と現段階での施設動画を公開しています。詳しくは右のＱＲコードから確認してください。

新「道の駅」に関するさまざまな疑問についてＱ＆Ａを市ホームページに掲載しています。左のＱＲコードから確認できます。

問い合わせ先　プロジェクト推進課　☎２３－７５７７



